

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	スターワーク東金		
○保護者評価実施期間	2026年2月26日		～ 2026年3月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	2026年2月26日		～ 2026年3月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・当事業所は、就労準備型放デイのため、利用児は、中学生高学年から高校生及び支援学校の高等部の生徒である。色々な放デイがあるが、就労準備型を謳っている放デイが数少ない。	・作業トレーニングと称した活動を行っている。作業内容は、銅線を剥がし銅線だけ抜き取る作業と、スプーンや割り箸のセットを作る軽作業である。	・月曜日～金曜日までのカリキュラムはできている。そのカリキュラムに沿って活動を行っている。土曜日は朝から利用児が揃うため、アクティビティの充実を図っている。近隣史跡巡り、近隣の名所巡り、外食体験、チャレンジランキング競技等で利用児から好評を得ている。
2	・アクティビティも将来を見据えたものを、検討し実施している。利用児や保護者からも好評である。	・知的障害の利用児もいるが、全員が自分の名前、住所、連絡先が言える、書けるを目標にし、達成するため、学習タイムを設け、対応している。また、苦手な計算や漢字練習も行っている。指導の際は、原則1対1のマンツーマン指導の体制をとっている。	・社会人としての自覚を持たせるために、社会人マナーや社会人としての会話を高める学習会を活動の中に加えている。また、ソーシャルスキルアップを図っている。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用児の障害の病種や障害レベルが多様で、個に合わせた指導、支援が難しい。	・一番の要因は、利用児の障害の種類と障害レベルの違いである。自閉症の子もいれば自閉症に知的障害の重複児もいる。知的レベルでも簡単な計算問題ができる子もいれば、できない子もいる。	・個に応じた支援を行うために、月曜日から金曜日の固定されたカリキュラムの見直しと、活動時間の変更などが挙げられる。
2	・毎日利用している利用児は問題がないが、週数回程度の利用児は、決められた活動(支援)が行えず、サポートが空白になってしまう課題がある。	・利用児が当事業所でのみの利用であり、毎日の利用であれば、計画に沿った支援ができるが、放デイの併用利用や迎えの時間帯が違い活動に間に合わない等が課題の要因である。	・アクティビティの見直しと、現状を踏まえたサポート体制の再構築が必要と考える。
3			